

令和 5 年 度

2023年 4月 1日から

2024年 3月31日まで

事業計画書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人 大槻能楽堂

令和5年度事業計画

当能楽堂は、ユネスコ無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っています。

事業ごとの主な内容は以下のとおりです。

1. 能楽公演等事業

(1) 自主公演能事業

能の魅力を探るシリーズ（年7公演）

自主公演の柱となる「能の魅力を探るシリーズ」では、テーマに沿った能を一流の演者で企画しております。今年のテーマは「大槻文藏と読み解く能の世界」です。能と対談を基本とし、数公演に狂言を組み込みました。

令和4年度からはそれ迄と趣向を変えはじめた対談が好評を得ましたので、本年も大槻文藏が聞き手となり、多くの能楽研究者の方をお招きします。また回数を重ねるため、同じ内容にならないよう、能の成立・仕様・それぞれのポイント・理念など、公演ごとにも小テーマを定め、次年度と2年間にわたり行うよう企画しております。本年は大成以前、観阿弥・世阿弥時代を中心に次年度の元雅・禅竹以降へ移っていきたいと考えています。能の魅力を継続してお客様により深く知って頂き、これまで以上に能の魅力を引き出し、新しいお客様から能楽愛好者の方まで、幅広いお客様に楽しんでいただける公演になるべく、開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ	対談
2023年4月22日	狂言「名取川」		善竹彌五郎	村上湛 大槻文藏
	能「西行桜」	素囃子	梅若万三郎	
2023年6月25日	狂言「地蔵舞」		茂山忠三郎	松岡心平 大槻文藏
	能「百万」	法楽之舞	武富康之	
2023年8月26日	能「盛久」	恐之舞	浅井文義	山中玲子 大槻文藏
2023年9月23日	能「融」	酌之舞	上田拓司	小田幸子 大槻文藏
2023年10月28日	能「菅丞相」		浦田保親	三浦裕子 大槻文藏
2023年11月25日	能「蟬丸」	替之型 琵琶之応答	観世喜正 梅若紀彰	天野文雄 大槻文藏
2023年12月16日	狂言「察化」		茂山あきら	高桑いづみ 大槻文藏
	能「松風」	戯之舞	片山九郎右衛門	

企画公演 新作復曲再演の会（全1公演）

能は700年近い歴史の間に、約2500曲以上の作品が創られてきましたが、江戸時代に幕府の式楽となり、演目が絞られ250曲ほどに厳選されました。現在その250曲ほどを現行曲と言ひ、その他の作品は演ずる機会が失われました。その演じる機会の無い演目を復活上演することを復曲といい、新しく書き下ろした曲は新作能と言ひます。復曲も、新作もその後の再演がとても大事なことで、本公演は、その大事な再演の役目を担った公演です。能は様々な役者達が色々な角度から見つめ、永年に亘り再演を試み、曲が練り上げられていくものです。本年再演する新作能「実朝」は俳人・高浜虚子の新作能です。

虚子門下の俳人であった野村幻雪（四郎/人間国宝・令和3年にご逝去）の母堂、六世野村万蔵夫人の野村梅子氏の委嘱を受けて、虚子から野村へ授けられた新作能。自主公演のレギュラー出演者であった野村氏を偲んで愛弟子の上野雄三により再演し、現代の観客の方々に作品や伝統継承の重要性・魅力を伝えるべく開催いたします。

開催日	演目	シテ・講師
2023年5月20日	お話「あはひに浮かぶ孤心」 -再演を重ねる《実朝》の魅力-	石淵文恵
	新作能「実朝」	上野雄三

特別公演 ナイトシアター ろうそく能（全1公演）

毎年恒例のろうそくに火がともされた空間で能を鑑賞いただく人気公演。

近年は他芸能ジャンルとのコラボ企画で開催し、新しいお客様に改めて能の魅力を知っていただき、今後の観客拡大を図る企画です。

本年は、華道の流祖池坊流の次期家元専好氏をお迎えし、能「半蔀」の立花を挿して頂きます。また立花と能との拘わりなど専好氏と大槻文蔵の対談も予定。新しい観客層の確保につながる公演となるべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ等
2023年7月14日	立花		池坊専好
	対談「立花と能」		池坊専好 大槻文蔵
	能「半蔀」	立花	大槻文蔵

特別公演 大槻能楽堂 創立九十年記念公演（全4公演）

多くの皆さまの御支援を賜り、昭和10年(1935年)9月15日に舞台披きを致し、令和6年に90年の節目を迎えます。

これを記念し、また歴史ある90年目の年を周知するために1月～3月で記念公演を企画。

これまで、様々な企画、全国からその当時の当代随一の演者を招聘してきた大槻能楽堂だからできる配役、曲目にて、東西の中堅気鋭、名人名手の能楽師の競演をご覧ください。

1/3 は観世流次期家元三郎太氏の関西初披露の翁。観世清和氏の高砂は大変上演稀な小書（大極之伝）にて上演。1/4 は3人翁による弓矢立合、野村家に伝わる三人三番叟の三人之舞を上演。

その他の番組も90年を寿ぎ、これから長く伝わる伝統・伝承を担うものであり、今後も大阪、上町台地の地で、高い芸術水準にて能楽界を牽引していく意気込みを示す公演とするべく開催いたします。

開催日	演目	小書	シテ
2024年1月3日	「翁」		観世三郎太 茂山千五郎
	狂言「末広かり」		茂山七五三
	能 「高砂」	八段之舞 流之伝 八頭之伝 太極之伝	観世清和
2024年1月4日	「翁」	弓矢立合 三人之舞	観世清和 観世鍊之丞 大槻文藏 野村万作 野村萬齋 野村祐基
	狂言「三本柱」		野村萬齋
	能 「望月」	古式	観世鍊之丞
2024年2月12日	能 「景清」	松門之出	梅若桜雪
	狂言「二人袴」		善竹隆司 善竹隆平
	能 「木曾」	願書	齊藤信隆
2024年3月23日	能 「草子洗小町」	替装束	赤松禎友
	狂言「素袍落」		山本東次郎
	半能「石橋」	師資十二段之式	大槻文藏 大槻裕一

(2) 学生鑑賞能事業

学生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せて行います。本年度は年間4回程度行う予定です。

(清教学園高校・梅花高校・玉造小学校・明星大学)

(3) 委託公演能事業

- 恒例の有馬能楽堂で催す有馬能が、計3公演（能1公演、狂言1公演、舞囃子1公演）の委託を請負、より多くの方に伝統芸能能楽に触れる機会を提供します。
- 三田屋心齋橋店内の舞台にて狂言公演1公演の委託を請負、より多くの方に伝統芸能能楽に触れる機会を提供します。

3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」は本年度も事前にワークショップ体験授業を行った上で、当日は下記公演内容で実施します。

①はじめての能楽 オープニング演奏・

能楽について（DVDで能楽入門／鑑賞・スクリーン使用）

②謡に挑戦（謡に挑戦／能楽師と共演発表会）

③エアで能の楽器体験！

④実際に能面を付けて舞台を歩こう！

⑤能面や小道具でクイズ

⑥能「小鍛冶」 ストーリー説明

半能「小鍛冶」鑑賞

上演は、体育館に特設の能舞台を組んで致し、感受性豊かな子供時代に日本の舞台芸術である伝統芸能「能楽」を知ること、将来の文化芸術に対する観賞力等が大きく向上することができればと考えています。

4、その他、下記公演等の受託を予定しています。

- ・銀座余情 2023
- ・熱海座秋公演（MOA 美術館）
- ・日本全国アートキャラバン！

（4）見学・体験教室事業

謡曲教室事業を、一般の方を対象に年 1 回、及び大阪府教職員互助組合の退職員を対象に年 4 回（3 カ月毎）、実施予定。

また見学・体験プログラム（能舞台見学・能楽解説・楽屋案内等）を実施し、より一層多くの方々に能楽に触れる機会を創出する。

2. 能楽堂等貸与事業

（1）能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当法人が所有する能楽堂を貸与します。能楽の公演会場としては年間 60 回以上、稽古場としては年間 180 回以上の貸与予定です。しかし、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対して積極的に貸与する予定です。

（2）その他能面・能装束及び作り物の貸与事業を行います。

以 上